

電気火災 に注意しましょう！

大森消防署

電気火災とは？

- 電気火災とは、電気や電気製品にかかわる火災のことをいいます。
- 今年もすでに、電気に起因する火災が発生しています。

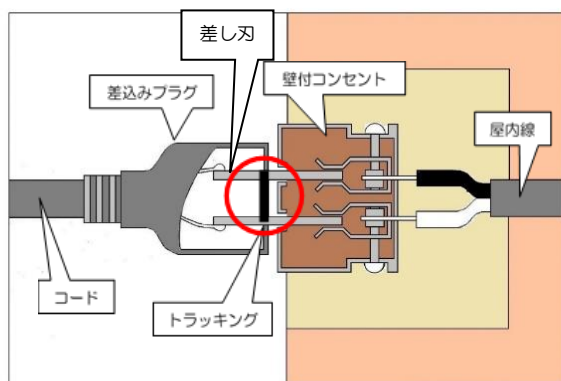
身近に潜む火災危険

- 差し込みプラグやコンセントといった配線器具は、差し込みプラグのトラッキング現象やコンセント内部の接続部の緩みによる発熱、プラグをコンセントに差し込む際に、アース線やヘアピン等の媒体を挟み込むなどの火災が発生しています。
- **火を使用している意識がないため、火災に気づきにくい**特徴があります。

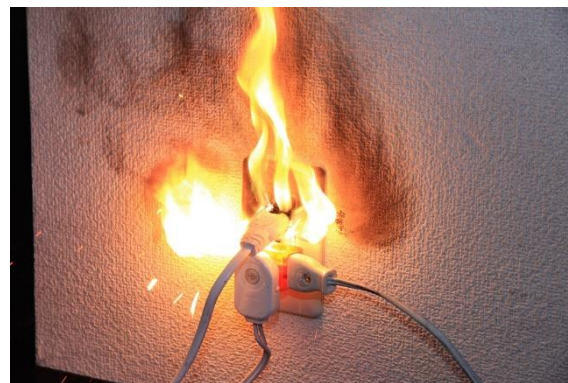
【トラッキング現象による火災】

トラッキング現象とは、コンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿埃などが湿気を帯びて微小なスパークを繰り返し、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する現象を言います

トラッキング現象による火災は、隠れた部分で発生することから、発見が遅れて思わぬ被害に繋がる場合があります。



トラッキング図解



トラッキング（再現）

【コンセント、差込みプラグ等による火災】

延長コードの差込みプラグや電気機器の電源プラグを、コンセントやテーブルタップに差し込む際、アース線やヘアピンなどを挟み込んでしまい、ショートして出火する火災が増加しています。

電気製品の使用の有無にかかわらず、コンセントに電源プラグを接続しているときには通電しており、感電や火災の危険があることを認識しましょう。



ヘアピンを挟み込んだ状況

《電気火災を防ぐポイント》

● トラッキング現象の火災

- 定期的に点検・清掃する。
- 使用しないプラグは抜いておく。
- 見えにくい場所のコンセントには特に注意する。

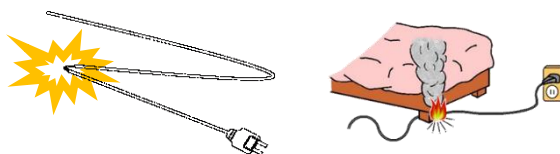


● 金属の接触部の過熱

- プラグはコンセントにしっかり差し込む。
- プラグ・コンセントは変形等がないか定期的に点検する。

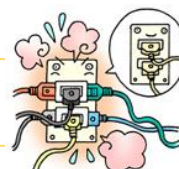
● 電線の短縮（ショート）・半断線

- 電気コードを家具の下敷きにしない
- 束ねて使用しない。
- 折れ曲がりに注意する。



● 過多の電流

- 電源タップは決められた容量内で使用する。



電気製品の「小さなこげ跡」でもご相談ください！



「小さなこげ跡」でも偶然に消えただけで、
大きな火災になるかもしれません！



小さな
こげ跡

もしかしたら
大きな火災に



ブレーカーの小さなこげ跡

ブレーカーが燃えた火災

それぞれ違う事例ですが、同じ原因(接続ネジのゆるみ)です



テーブルタップのこげ跡



電気コードのこげ跡



コンセントのこげ跡

上の写真の例も、状況によっては大きな火災になることもあります

東京消防庁では電気製品の小さなこげ跡も火災として扱い、原因を調べて火災予防につなげています

電気製品のこげ跡を見つけて心配な場合は

東京消防庁ホームページ(<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>)や
東京消防庁公式アプリ内の東京消防庁版電気製品火災相談ガイドを
ご覧になるか、お住まいの管轄消防署にご相談ください。